

ゲディミナス城(リトアニア ヴィリニウス市)

ゲディミナス城（リトアニア語：Gedimino pilis）は、かつてリトアニアの首都ヴィリニウスにあったヴィリニウス城のうち、丘の上に建てられた上宮を指す。ゲディミノ城とも表記される。現在は一部しか残っておらず、現存する西の塔はゲディミナス塔ともよばれる。

12世紀にリトアニア大公ゲディミナスによってヴィリニウスの丘の上に木造の要塞が作られ、1409年にヴィータウタスによって煉瓦造りの要塞に変えられた。塔のうち3回部分は1930年にポーランド建築家ヤン・プロフスキによって再建されたものである。

丘の上までは徒歩で登ることができ、またケーブル鉄道でも丘の上まで行ける。ヴィリニウスの旧市街を一望する絶景スポットでもある。

ゲディミナス塔は、ヴィリニウスとリトアニアのシンボルとして重要視され、現在のリトアニアの通貨、リタスの紙幣にも描かれている。また、ゲディミナス城を取り上げたリトアニア人の愛国的な詩や民俗音楽も多い。ソヴィエトからの独立運動が高まっていた1988年10月7日、両大戦間期にリトアニア国旗として用いられていた黄・緑・赤の3色旗（後に再び国旗となった）が塔の上に掲げられた。

Wikimedia による

14世紀、大公ゲディミナスがトラカイからヴィリニウスに遷都した際に、城が築かれた場所です。19世紀に帝政ロシアによりその大部分が破壊され、現在は監視塔として使われていたゲディミナス塔のみが残っています。ここからは新市街と旧市街が一望できます。「下の城」と呼ばれる王宮は、大聖堂のある広場にあります。塔は丘の上に建っており、丘の上にはケーブルカーで上れます。

「DTAC リトアニア観光情報局」サイトによる

